THE SENDAI HIGH SCHOOL

川内高校新聞

校學高等內川　人行發
部藝文
郎四田寺　者表代
二吉保久　人刷印
町院集伊縣島兒鹿

白線帽

校長　逆瀬川助熊

空とぼる心さ
だまる秋なかば
開校記念の式典
をあぐ

憧れのバッヂ
と白線帽が、清
新の氣とともに
町を明るくした
まことに微笑
ましい光景である。

天は高く空は
廣い。若人は希
望と理想に燃え
て止まることを
知らずヒチ〳〵
動いている。

興譲館に音樂室
に運動場にプー
ルにそのたくま
しい姿。姿。

人の一生は、そ
の瞬間〳〵がす
べて生活である。
本校場廿六回（大正六
年）の卒業生で在學中
は無遅刻無欠席然も五
ケ年間級長でおつとほ
し、現在我國の經濟界
の重鎮である濱田德海
先生（七高東大卒。先
月御歸省の折は學校の
復興振りと諸君の純の
委とを喜ばれて圖書館
の建築資金に一万圓の
御寄附を頂き感謝に堪
えない）は本校在學中
すでに始めての南九州
オリンピック大會で二
五哩マラソン競爭に優
勝して一躍その名をな
しひきつゞき學生時代
には東京高師秋葉金栗
二選手とともに日本縱
走の計畫をなし青森、
東京間を秋葉選手東京
下之關間を金栗選手。
我が濱田選手は門司鹿
兒島間を毎日四十里宛
走り通し、一人で走りつゞけ目出
度くゴールインした。
斯くて日本に於ける、マ
ラソンの創始者である
先生は、毎日四五里の
道を歩くか、走るか
しながら常に足の運び
手の振り方呼吸の仕方
その三者の調整等合理
的に研究を續けられた
という。水泳界の驚異
古橋選手は嚴寒の日と
いへども毎日七千米を
泳ぐし、一日これを欠
げるとその翌日の記錄
はきまつて悪いと語つ
ているという。運動競
技新くの如し。學問藝
能は尚更のことである
けれど「天才とは努力で
ある。」毎日毎日を樂
しく自分の志す道に精
進しよう。青年のときに
はその基礎を十生を
通じて愉快にこれをつ
とげ其の方面に於いて
從來の面目を一新せね
ばならぬ。吾々はなど
祖先の置土産を有難く
頂戴するだけでは生甲
斐はない。吾々の可愛
い子孫のためにより尊
い遺産を殘さねばなら
ぬ。美しい文化の香り
を。親愛なる川内高等
學校二千の生徒諸君、
自重自愛啻つて將來の
大をなせ。

祝辭

鹿兒島軍政部民間情報教育課長
ロイ・シー・カルハウス中尉

川内高等學校の校内新聞發刊にあたり思ふことの一端を述べて祝辭としたい。本年四月學生改革によつて、新しく新制高等學校が發足したのであるが、日なほ淺き今日に於て、すでに豫期以上の成果を收め得たことは關係各位の並々ならぬ努力による賜として祝福されなければならない。この好期にあたり、本校に校内新聞が發刊されることはまことに、喜ばしいとしなければならない。編輯に當る諸君は、新聞が讀者に與へる影響をよく考へ誠意ある仕事をしてもらひたい。諸君等高等學校の生徒は、將來の日本の指導者としての重責を自覚してはき高校生としての正しき態度を持ち、正じき批判力を養つて、健全なる學校生活を送られんことを望んで止まない。若人の情熱に溺れて理性を失ふが如きことは嚴につゝしみ、與へられる責任をよく考へ、よき日本、平和なる世界を自分で作り上げて行くという大きな希望をもつて勉學に勵むやうに希望する次第である。

思い出す人々

第二部長　勝部顯一

○人はお互に相手の人格を尊重する事が大切だ。從つてこの尊敬の念のあらはれ方の一つに「禮」といふ事が重んぜられねばならない。平和で明朗な住みよい社會を作るにはお互がもつとこの「禮」といふ事に心掛けたいものだ。

○男女の交際は自由になつた、父母や兄姉の心配の種もなくなるであらう。或人が私にいつた「納涼大會の時の男女學生の有様はあれでよいかい」と。そのあれといふのはどんな事を持して居たのかト男女の學生がお互に話をして居たとかいふのがそれとももつと極端な事をしてゐたのかト分らないが居たのかト分らないで迷惑に困つた。遂に角を立てた人はこのまゝ放任しておくと困つた事になるぞと注意して呉れたものと有りがたく思つて居る。男女の交際にもてもお互に尊敬し合ふ心があれば他人が必配する様な事にはそう至らない筈だ。相手の人格を尊重してほしい。本能滿足の道具と思つて貰ひ度くない

○責任感の強いといふ事は誠によい事だ。然し己の責任を果せばそれでよいといふのではいけない。協力一致といふ事がなければならない。私が或る女學校へ轉任直後放課後の授業中の四年生の教室を見まわした時その教室の一部分の床がふいてない事を發見してその理由を聞いたら曰く「この責任者は今日は學校週番で掃除が出來なかつたから」と。私はあいた口がふさがらなかつた。

○時間勵行とか時間嚴守とかいふことはいつの頃からいはれ出したことか。隨分久しくいひつゞけられて居るものだらう。が一向にこれが勵行されない。過言ではあるまい。時間勵行一つ出來ない國民に何が出來るかといひたい。

說論

新教育の意義

教育民主化の第一歩として、先づ學制は六三四制と一大改革をしたのである。この新しい制度の下に於ける教育は、如何に民主化されたか。昭和二十二年三月三十一日公布された教育基本法はこれ即ち新しい日本に於ける教育の根本理念を確立したものである。

この基本法第一條には教育の目的として、人格の完成を目指し、平和的な國家及社會の形成者として、眞理を愛し、個人と價値を尊び、勤勞と、責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身共に健康な國民の育成を期するとしてゐる。個人の尊厳、人格の完成、これに依る民主的文化の育成と民主日本の教育が第一に掲げる指標である。

從來の我國の教育は國家の犠牲に奉仕すべきものとされ、皇國民の育成と言ふ事が主眼とされて、國家を超越する普遍的道徳の存在を無視し個人の侵すべからざる權威、價値が軽視された。又國家に有用なもののみが、眞理とされ、眞理そのものの追求、眞理の爲の眞理の探究の精神が輕視され、眞理は阻害されたりと言う様な事に迄

功利主義に依つて歪曲されてしまい、自國の民族文化の特殊性のみを強調して獨善的となり、普遍的價値を見失うに至つたのである。此の様にして、教育はその自由性を失い、遂に軍國主義的、又は極端な國家主義傾向をとるに至つたのである。斯くの如き過去の誤りを是正し、眞に普遍的な教育の理念がこの教育基本法に依つて示されたのである。

吾人は此の新制高校開校祝賀記念に當り今一度新教育の根本理念を再檢討し我國に於ける新教育の開拓者である。と言う自覚と自信と責務とを痛感し、社會の爆統、習慣、文化的財産を次第に繼承し、軍國主義的、又は極端な國家主義傾向をとるに至つたのである。